









作品名称

『　comorebi　』

京都府八幡市のイタリアンレストラン

種別　　：新築
建築面積　：１８８．５４㎡
延床面積　：２０８．６７㎡
木材使用量：５３．２６㎥
（うち京都府産２５．７８㎥）

設計趣旨

家族が気軽に食事を楽しめる、親しみあるイタリアン食堂として計画した。
構造材には京都府産木材を用い、柱･梁･合板を可能な限り現しとすることで
木の温もりを身近に感じられる、カジュアルで開放的な空間としている。
大きな勾配屋根を支える木の架構と、高窓から差し込む自然光が重なり、
時間とともに移ろう光と影が、店名「comorebi」を象徴する風景を生み出す。
また、構造材だけでなく、造作家具やテーブルにも京都府産木材を用い、
建築から人の手に触れる場所まで、地域の木で一貫して構成した。
京都で育った木を構造・空間・家具へと連続させ、食事という日常の中で、
木の魅力を自然に感じられる場としている。